

小学校 1年

ぶれぜんてえしよんで、じこしようかい！

摂津市立別府小学校

教科	国語	単元名	すきなもの、なあと
----	----	-----	-----------

本時のねらい

自己紹介プレゼンテーションを作成し、それを使って、タブレットを用いた自己紹介ができる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

1人1台端末を使用し、プレゼンテーションの仕方（より相手に伝わる話し方、資料の見せ方）を身につけさせる。またお互いのことを知らない友だちとも、タブレットは視覚化・共有化ができることを利用して、楽しく関わりあう。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 (iPad)
- ・AppleTV
- ・電子黒板
- ・授業支援アプリ (ロイノート)

本時の展開 (90分)

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の目標を知る。 「たぶれっとで じこしようかいを しよう！」 ○授業支援アプリ (ロイノート) を使った教員による自己紹介を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味を持つような、身近なことを題材とした自己紹介スライドを例示する。
展開 (65分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介プレゼンテーションの作り方を確認する。 ・付箋はここからもってきた。 ・書く時はここを押した。 ○自己紹介プレゼンテーションを1枚ずつ作成する。 ・1枚目：自分の名前 ・2枚目：好きな食べ物とその理由 ・3枚目：自分の宝物 ○友だちと自己紹介を行い、サインをもらう。 ・「私の名前は、〇〇です。」 ・「好きな食べ物はからあげです。どうしてかという、あつておいしいからです。」 ・「たからものは、ぬいぐるみです。」 ・4枚目のサインシートにサインをもらう。 ①教室にて練習を行う。 話し方のポイントを意識し、いろんな児童と練習する。 ②体育館にて、1・2組合同で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援アプリ (ロイノート) で、付箋の色を変えて3枚まで、1枚に1事項、自分で直接タブレット端末 (iPad) に手書きか、ひらがな入力で作成させる。 ・活用スキルの習得も目指し、課題設定をする。 課題 キーボード入力・縦書き・中央ぞろえ・シートの色 ・話し方のポイントとして、タブレット端末 (iPad) を聞き手の方へ向けること、できるだけ前を向いて話すこと、スライドして次のカードをタイミングよく表示することを伝える。 ・4枚目のサインシートは枠のみを教員が用意し、直接タブレット端末 (iPad) に手書きでサインを書けるようにする。 ・体育館での説明は、教員の画面を児童の端末に直接画面共有をしながら行う。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○うまくプレゼンテーションを作れたか、うまく伝えられたか、友だちのことがわかったか、について振り返る。 ○友だちの感想を見て、どんなことを思っていたのか共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が、授業支援アプリ (ロイノート) で作成したシートに手書き・キーボード・音声入力など、自分が一番使いやすい入力方法で振り返らせる。 ・お互いの感想を見ることができるよう、回答の共有を行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：電子黒板を用いた自己紹介の説明場面



写真2：自己紹介プレゼンテーションを行っている場面



写真3：ふりかえりを行っている場面

児童生徒の反応や変容

「たのしかった」「おもしろかった」「いちねんせいなのにできてよかった」「おとなりの(クラスの)ともだちともなかなよくなりたい」といった振り返りだった。他者との関わりがまだ少ない1年生にとって、自己紹介は気恥ずかしいものではあるが、自分が作ったスライドがあれば、相手に伝えたいと考え、普段より頑張って取り組む姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「1年生だから」と教員側が取り組みを制限せず、「授業で扱うアプリを児童が使えるようにするための時間」を確保することで、子どもたちが、いきいきと自然にタブレット端末 (iPad) を使う様子が見られた。